

地方創生推進交付金事業 委員評価シート

No.	事業名	担当課	事業全体の評価（いずれかに○）		「事業の内容」に記載されている各個別事業等への意見・今後の提案等
1	今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業 <small>（旧：お茶の京都DMO地域活性化推進事業）</small>	産業課	総合戦略のKPI達成等に非常に有効であった		<ul style="list-style-type: none"> ・お茶の京都の中で、久御山町の存在感が薄いことが課題。前回、観光消費額の少なさを課題としたが、その後、どういう取組み・対応をしたのか、その結果、数値がどう変化したかが示されていない。山城地域の額が示されているが、久御山町にとっての額も重要。お茶の京都の中で、久御山町のキャラをどう立てるかが課題。 ・三代澤アナによるYouTubeはとても良かった。久御山町を知っている私でも、これを見た人は行ってみたいと思われたのではないかと感じた。今後は、町内にいるインフルエンサーを掘り起こし、町内から多種に渡っての発信を考えてはどうか。こうしたものは、行政は不得意と考えるため、若い人たちによる新しい目線や感性での発信が必要。 ・ユーチューブを利用した宣伝効果は高いと思います。 ・コロナの中、準備としてはすごく出来ていたと思います。事業としてはフットワークを軽く素早く動くことが重要だと思います。 ・新型コロナウイルスの影響により、KPI指標に基づく目標は未達となったが、取組内容は「お茶の京都」のPR浸透に効果があったと考える。「やましろエリア」としての取扱いであり、久御山町の取扱いは一部分となっているが、YouTubeにあったように、この取組みを入口として、久御山町の魅力発信に繋げる手法は有効であったと考える。今後はこのトレースでの取組件数の増加が不可欠と考える。 ・京都府南部全体としては効果が見られると思われるが、基本目標の「くみやま」独自の魅力を、今以上に発信する必要があると思います。今まで以上のHPやSNSの活用、継続的な活動が必要だと思います。 ・お茶の京都DMOに負担金として拠出しているが、使用用途に制限がないとのことであった。久御山町から拠出した負担金であるので、もっと久御山町のPRになるような使い方を指定した方が良く思う。 ・最近SNS等で宇治以外の南部地域でのお茶の取組みの情報をよく目にするので、山城地域としてはお茶の京都としての認知がされているなど感じています。 ・令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、インバウンドは激減し、ツアー等も実施出来なかったが、昨年度に引き続きお茶の京都DMOが今年度も官公庁「重点DMO」に選定され、日本遺産「日本茶800年の歴史散歩」が継続認定されるなど、「お茶の京都」の取組みに向けた体制がさらに整ったところです。落ち込んだ地域経済を活性化させ、地域に元気を与えるため、お茶の京都DMOが「ぶらりお茶の京都旅」で久御山を3回にわたってYouTubeで紹介しており、今後も久御山町の観光推進事業に寄与できたらと思います。 ・久御山町の地域の魅力を掘り起こし、小さな旅を実践するためのボランティアガイドの養成研修の実施や町の紹介を含むHPの作成、YouTubeを活用した町の産業の紹介（お茶の京都ぶらり旅）、カーシェアの取組みなど、地域の観光資源の発信が行われている。お茶だけにとらわれず、地域の活性化に向けた幅広い事業展開を期待する。
			総合戦略のKPI達成等にある程度有効であった	8	
			総合戦略のKPI達成等にあまり有効とは言えない	2	
			総合戦略のKPI達成等に有効とは言えない		
2	京都やましろ地域×東京しぶや連携 ～和 culture × 多文化 関係人口創出プロジェクト～	行財政課	総合戦略のKPI達成等に非常に有効であった		<ul style="list-style-type: none"> ・山城地域全体としての効果はともかく、久御山町にとっての効果はどのようなものであるのかが示されていない。近隣でも、地域全体としてはともかく、自分の地域への効果はあまりないという評価もある。 ・渋谷と京都とのブランド名で、一定の食いつきは想定できるものの、他市町村に食われてしまっていたのでは？ 若者の街「渋谷」とコラボするのであれば、やはり若者同士の完成でのやり取りを今後進めてはどうでしょうか。また、そこからどういった取組みが都会の若者の魅力を感じるのか。都会の若者の生の声をすくい上げていく。渋谷の魅力・嫌なところ、久御山の魅力・嫌なところ。学生同士の交流が良いのかもしれない。「渋谷発！」を久御山で取入れる。 ・山城地域と東京渋谷では遠距離ではありますが、和 culture × 多文化の融合として夢のある事業だと思います。 ・PRIについて、個人的な感想ですが、ごく一部の方にしか認識されていないような感じがしました。 ・上記同様、KPI指標に基づく目標は一部未達。コロナの影響により取組みできない事業もあったが、逆にSNSやデジタルお茶会の取組みなど、新たな取組みに着手できたことは有効と考える。DXにおける活用は、周知方法として今後不可欠であり、活用手法が今後の課題と考える。 山城地域全体のイメージアップに繋がる効果はあると思います。関係人口の増加割合を目標数値とすることはできませんか。上記と同じく、HP、SNSは重要と思います。 ・久御山町を知ってもらえたかどうかは分からないが、京都山城地域を知ってもらうきっかけになっていると期待したい。YouTubeをもっとたくさんの人に見てもらえる策がほしい。 ・コロナの影響が大きいとはいえ、SNSだけではどんな効果があったのかよく分かりませんでした。 ・コロナ禍という厳しい状況の中で、SNSキャンペーンやデジタルお茶会を実施するなど、POSTコロナを見据え、取組んでいることを一定評価します。今年度も「プレミアム大茶会」等のイベントを予定しており、この事業の推進にお茶の京都DMOとともに取組んでいきたいと思っています。 ・山城地域の広域的な取組みのなかで、東京で久御山町独自の魅力をどのように発信していくのかが大きい課題である。
			総合戦略のKPI達成等にある程度有効であった	9	
			総合戦略のKPI達成等にあまり有効とは言えない	1	
			総合戦略のKPI達成等に有効とは言えない		

地方創生推進交付金事業 委員評価シート

No.	事業名	担当課	事業全体の評価（いずれかに○）		「事業の内容」に記載されている各個別事業等への意見・今後の提案等
3	全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」構想プロジェクト	新市街地整備室 都市整備課 住民福祉課 社会教育課 行財政課	総合戦略のKPI達成等に非常に有効であった	2	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地の提供、まちづくりセンターなど、町にとって重要、地方創生のポイントとなることに取組んでおり、評価したい。 ・色々取組みされていることは評価できるものだと思います。しかし、「鎮守の森計画」があっても良いのでは？ 作られた空間ではなく、昔、みんなが集まり、自由にその空間を楽しんで作っていく。防犯や防災的にも活用できると思います。 ・新市街地整備計画は、新たなものづくり産業拠点の広がりを期待しています。 ・スケジュールをもとに、しっかりと行えていると思う。 ・上記同様、KPIに基づく目標は一部未達。しかしながら、本プロジェクト事業は、事業拠点として、今後大きく町を活性化させるために有効であると考え。特に、「みなくるタウン」や「まちのにわ構想」の取組みは推進されている。事業年度毎の評価を検証し、残りの事業年度に活かしていくことが課題と考える。 ・聴覚障害だけでなく、視覚障害の方への支援が何かあれば良いと思います。全ての障害者にとって、住みよい町を目指す事業を実施してほしい。 ・まちづくりセンターについて、中央公民館同様、利用し続けてもらえて、また新たな利用が増えるような、魅力有る施設になってほしい。 ・まちづくりセンターは、今まで公民館等を利用していた方は引き続き使われると思うので、それ以外の方やこれまでコミュニティから外れがちな方など多くの方が、少しでも関わられるようなものになってほしいと思います。 ・この構想プロジェクトの「1 町内定住の促進」で新市街地(みなくるタウン)アドバイザーボード会議の委員でもあり、令和5年度に予定されている「都市計画の線引き見直し」にうまく整合できるよう、京都府の都市計画課と調整していきたいと思ます。 ・コロナ禍の影響により、出生数が減少していることが大きな課題である。全世代・全員活躍まちづくりセンターの整備を進めるなかで、地域コミュニティを高めるためのソフト面以外の取組みを、地域住民と一体となって進めることにより、全ての人が活躍できるまちづくりの拠点とすることが重要である。特に子育て世代が自由に交流できる拠点を目指すべきだと考える。
			総合戦略のKPI達成等にある程度有効であった	8	
			総合戦略のKPI達成等にあまり有効とは言えない		
			総合戦略のKPI達成等に有効とは言えない		